



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月31日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 2109 URL <http://www.mitsui-sugar.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田 雅明  
 問合せ先責任者 (役職名) 業務本部経営企画部長 (氏名) 津田 琢哉 TEL 03(3663)3111  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	74,105	19.6	3,330	△22.3	4,900	△11.9	3,688	76.1
24年3月期第3四半期	61,962	△0.0	4,287	△27.6	5,561	△12.9	2,094	△45.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 3,798百万円 (93.7%) 24年3月期第3四半期 1,961百万円 (△49.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	27.66	—
24年3月期第3四半期	15.66	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	93,584	59,251	58.9	413.60
24年3月期	72,815	53,197	71.9	392.53

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 55,153百万円 24年3月期 52,344百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
25年3月期	—	3.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	97,000	21.2	4,200	△6.8	6,200	△0.2	4,400	72.6	33.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
新規 1社 （社名）北海道糖業株式会社、除外 1社 （社名）－

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の3及び第10条の5に該当するものがあります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	141,667,400株	24年3月期	141,667,400株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	8,316,616株	24年3月期	8,314,930株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	133,351,585株	24年3月期3Q	133,808,686株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要を背景とした回復基調から一転して減速気味に推移していましたが、政権交代以降の各種経済政策効果への期待などを背景に、一部下げ止まりの兆しがみられる中、当第3四半期末を迎えました。

このような状況の中、当社グループは当期よりスタートした第4次中期経営計画「Mitsui Sugar Revolution 2013」の達成に向けて、神戸工場への精製糖生産集約や新基幹システムの活用による効率化を追求する一方、関係会社とグループ一体となったシナジーの創出や、上海駐在員事務所を起点とした事業展開を模索するなど、事業領域の拡大に向けた諸施策に取り組んでおります。

昨年12月にはタイで製糖・発電事業を営む製糖会社（コンプリ社）が実施する第三者割当増資の引受け及び新株予約権の取得に合意し、将来コンプリ社株式の5.6%を保有する予定としております。当社グループはこうした取組により海外展開を含む砂糖事業のさらなる強化を図って参ります。

当第3四半期連結累計期間の業績及びセグメントの概況は以下の通りであります。

## (砂糖事業)

海外粗糖相場は、前半には世界的供給過剰観測から下落を続けた後、世界最大の生産・輸出国ブラジルにおける降雨による圧搾遅れ・減産見込みなどを背景に反転局面もありましたが、同国での供給懸念が後退したことなどにより再度軟調に推移し、その後は比較的小幅レンジでの展開となりました。

販売面では、業務用の出荷は好調に推移しましたが、家庭用小袋は特売の減少などから振るわず、販売量としては前年同期を若干下回る結果となりました。また、岡山工場での精糖生産終了と神戸工場への生産集約に伴い、一時的に製品在庫を備蓄したことによる保管費用や、各工場間での製品回送費用が発生するなど、販売費関係全般が前年同期に比較して増加いたしました。

生産面では、引き続き省エネルギー活動、安定供給の確保、品質対策の強化に努めました。上期では生産集約に伴い増強した設備の償却費や修繕費の増加などが製造コスト上昇要因となっておりますが、第3四半期からは工場集約効果の固定費削減など計画通り貢献してきております。

また、当社グループ全体としては、従来持分法適用関連会社である北海道糖業株式会社を株式追加取得により連結子会社としたことにより、同社のビート糖及び農機具などの売上高及び営業利益を取り込んでおりますが、国産甘しょ糖子会社がさとうきびの歴史的不作の影響から減益となったことなどから、事業全体としては売上高66,196百万円、営業利益は2,474百万円となりました。

## 期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

始値185円～186円 高値185円～186円 安値182円～183円 終値182円～183円

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値24.68セント 高値24.86セント 安値18.31セント 終値19.51セント

## (食品素材事業)

連結子会社株式会社タイショーテクノスが田辺三菱製薬株式会社より食品事業の一部を譲受けたことや、北海道糖業株式会社の連結子会社化に伴い、同社のバイオ事業の売上高及び営業利益を取り込んだことなどによる増益要因もありましたが、株式会社タイショーテクノスの100%子会社化に伴うのれんの償却負担が発生したことや、既存事業が総じて厳しい経済環境下で苦戦を強いられたことなどにより、売上高は6,965百万円、営業利益は325百万円となりました。

## (不動産事業)

引き続き社有不動産の効率的活用に努めましたが、賃料相場の低迷等、厳しい環境が続き、売上高は943百万円、営業利益は530百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は74,105百万円（前年同期比19.6%増）、営業利益は計画並の3,330百万円（前年同期比22.3%減）となりました。

営業外損益においては、受取ロイヤリティー1,366百万円を計上したこと、また持分法による投資利益ではタイ国関係会社の堅調な業績が寄与する一方で、沖縄・鹿児島の子会社化に伴い、のれん発生益2,132百万円及び段階取得に係る差

損2,121百万円を計上したこと、また旧社宅等の一部遊休資産を売却したことなどにより、四半期純利益は3,688百万円（前年同期比76.1%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### 〔連結財政状態の変動状況〕

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比20,769百万円増加し93,584百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

#### ①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比15,283百万円増加し37,927百万円となりました。これは北海道糖業株式会社を連結子会社化したことを主要因として、受取手形及び売掛金の増加1,947百万円、商品及び製品の増加8,778百万円、原材料及び貯蔵品の増加2,464百万円等があったことによるものであります。

#### ②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比5,486百万円増加し55,657百万円となりました。これは北海道糖業株式会社を連結子会社化したことを主要因として、機械装置及び運搬具の増加6,217百万円、建物及び構築物の増加3,015百万円等があった一方で、投資有価証券の減少3,302百万円等があったことによるものであります。

#### ③負債

負債は、前連結会計年度末比14,716百万円増加し34,333百万円となりました。これは北海道糖業株式会社を連結子会社化したことを主要因として、支払手形及び買掛金の増加2,112百万円、短期借入金の増加7,750百万円、長期借入金の増加2,797百万円、退職給付引当金の増加1,594百万円等があったことによるものであります。

#### ④純資産

純資産は、前連結会計年度末比6,053百万円増加し59,251百万円となりました。これは主として、四半期純利益3,688百万円、剰余金の配当934百万円のほか、北海道糖業株式会社を連結子会社化したことを主要因として、少数株主持分の増加3,244百万円等があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の業績動向を踏まえ、平成24年5月15日に開示した業績予想を下記のとおり修正いたします。

### ①通期連結業績予想数値の修正

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	100,900	4,590	6,030	3,780	28円35銭
今回修正予想（B）	97,000	4,200	6,200	4,400	33円00銭
増減額（B－A）	△3,900	△390	170	620	—
増減率（％）	△3.9	△8.5	2.8	16.4	—
（参考）前期実績 （平成24年3月期）	80,049	4,504	6,209	2,549	19円07銭

### ②修正の理由

売上高につきましては、海外粗糖相場動向を背景に国内砂糖販売価格が下がっていることから前回予想値を下回る見通しとなりました。

営業利益につきましては、神戸工場への生産集約効果により下期からは前年同期を上回る傾向となっておりますが、関連して発生した一過性の販売直接費が当初見込みより増加したことなどを要因として、前回予想値を若干下回る見通しとなりました。

一方で、経常利益につきましては受取ロイヤリティーが増額見込みであること、また当期純利益では保有資産のリサイクルを推し進めたことなどを要因として、それぞれ前回予想値を上回る見通しとなりました。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、従来持分法適用関連会社であった北海道糖業株式会社の株式について、発行株式総数の19.3%を追加取得したことにより、同社を連結子会社といたしました。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （会計方針の変更）

当社における商品及び製品、仕掛品の評価方法は、従来、主として先入先出法によっておりましたが、比較的安定して推移していた海外粗糖相場が、近年は著しい相場変動を繰り返しており、このような経営環境の変化の中で、総平均法を採用することにより価格変動の影響を適時に反映し、より適正なたな卸資産の評価及び期間損益の計算を行うことができると判断したこと及び全社的な販売・在庫管理システムの更新も踏まえ、販売・在庫管理方法の見直しを行ったことを理由として、第1四半期連結会計期間より総平均法に変更いたしました。

当該会計方針の変更は、遡及適用されておりますが、その影響は軽微であります。

#### （会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に及ぼす影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,846	6,740
受取手形及び売掛金	4,770	6,718
商品及び製品	5,538	14,316
仕掛品	1,776	1,395
原材料及び貯蔵品	4,621	7,086
繰延税金資産	534	385
その他	566	1,284
貸倒引当金	△11	—
流動資産合計	22,643	37,927
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,316	32,625
減価償却累計額	△15,430	△21,725
建物及び構築物（純額）	7,885	10,900
機械装置及び運搬具	38,887	72,483
減価償却累計額	△32,770	△60,148
機械装置及び運搬具（純額）	6,117	12,334
工具、器具及び備品	1,594	2,256
減価償却累計額	△1,331	△1,863
工具、器具及び備品（純額）	263	393
土地	18,906	18,170
リース資産	55	35
減価償却累計額	△25	△5
リース資産（純額）	29	30
建設仮勘定	2,644	1,706
有形固定資産合計	35,846	43,535
無形固定資産		
無形固定資産合計	467	807
投資その他の資産		
投資有価証券	12,766	9,464
長期貸付金	53	51
繰延税金資産	129	941
その他	929	879
貸倒引当金	△20	△22
投資その他の資産合計	13,858	11,314
固定資産合計	50,171	55,657
資産合計	72,815	93,584

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,236	7,348
短期借入金	1,000	8,750
1年内返済予定の長期借入金	820	2,018
コマーシャル・ペーパー	500	—
リース債務	10	4
未払費用	2,552	2,086
未払法人税等	1,058	604
未払消費税等	104	287
役員賞与引当金	49	37
資産除去債務	24	—
その他	1,278	2,323
流動負債合計	12,634	23,460
固定負債		
長期借入金	2,765	4,363
リース債務	20	25
繰延税金負債	592	947
退職給付引当金	1,546	3,140
役員退職慰労引当金	—	114
資産除去債務	32	293
長期預り保証金	888	833
その他	1,137	1,154
固定負債合計	6,982	10,873
負債合計	19,617	34,333
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,255	1,255
利益剰余金	47,688	50,441
自己株式	△2,915	△2,915
株主資本合計	53,111	55,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	228	205
繰延ヘッジ損益	2	7
為替換算調整勘定	△998	△924
その他の包括利益累計額合計	△766	△710
少数株主持分	853	4,097
純資産合計	53,197	59,251
負債純資産合計	72,815	93,584



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	61,962	74,105
売上原価	49,796	59,046
売上総利益	12,166	15,058
販売費及び一般管理費		
配送費	1,852	3,251
役員賞与引当金繰入額	35	34
退職給付引当金繰入額	113	107
役員退職慰労引当金繰入額	—	23
その他	5,878	8,311
販売費及び一般管理費合計	7,878	11,728
営業利益	4,287	3,330
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	59	64
受取ロイヤリティー	457	1,366
持分法による投資利益	679	536
雑収入	215	190
営業外収益合計	1,413	2,159
営業外費用		
支払利息	17	117
固定資産除却損	36	117
設備撤去費	23	126
雑損失	61	229
営業外費用合計	139	589
経常利益	5,561	4,900
特別利益		
投資有価証券売却益	6	112
固定資産処分益	—	1,197
合理化対策事業助成金収入	61	—
負ののれん発生益	—	2,134
特別利益合計	68	3,444
特別損失		
固定資産圧縮損	61	—
減損損失	2,009	267
投資有価証券評価損	14	18
災害による損失	25	—
段階取得に係る差損	—	2,121
支払補償費	—	105
その他	—	60
特別損失合計	2,111	2,571
税金等調整前四半期純利益	3,517	5,772

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
法人税、住民税及び事業税	1,785	1,429
法人税等調整額	△410	610
法人税等合計	1,375	2,040
少数株主損益調整前四半期純利益	2,142	3,731
少数株主利益	47	43
四半期純利益	2,094	3,688

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,142	3,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	△26
繰延ヘッジ損益	△2	9
持分法適用会社に対する持分相当額	△142	83
その他の包括利益合計	△181	66
四半期包括利益	1,961	3,798
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,913	3,745
少数株主に係る四半期包括利益	47	53

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	食品素材 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,654	5,300	1,007	61,962	—	61,962
セグメント間の内部売 上高又は振替高	39	—	44	84	△84	—
計	55,693	5,300	1,052	62,046	△84	61,962
セグメント利益	3,388	332	566	4,287	—	4,287

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「砂糖事業」セグメントにおいて、岡山市南区に所在する岡山工場の精製糖生産設備について、資産グループの回収可能価額を著しく低下させる変化が生ずる見込みとなったため、減損損失2,009百万円を計上しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	食品素材 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	66,196	6,965	943	74,105	—	74,105
セグメント間の内部売 上高又は振替高	46	—	41	88	△88	—
計	66,243	6,965	985	74,193	△88	74,105
セグメント利益	2,474	325	530	3,330	—	3,330

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、北海道糖業株式会社の株式を追加取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日と比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「砂糖事業」セグメントにおいて25,284百万円、「食品素材事業」セグメントにおいて955百万円

増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

(たな卸資産の評価方法の変更)

商品及び製品、仕掛品の評価方法については、従来、先入先出法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より総平均法に変更しております。

当該会計方針の変更は遡及適用されておりますが、セグメント利益に及ぼす影響は軽微であります。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによるセグメント利益に及ぼす影響は軽微であります。